

教室数	47	東 14	中 20	西 13
提出数	47			

1 幼児言語指導を担当する行政

	東部	中部	西部	合計
教育行政 (教育委員会)	8	18	13	39
福祉行政	6 子育て支援課 こども も保育課 こども未	2 福祉課(子ども家庭 相談センター)	0	8
	合計			47

2 幼児言語指導教室の設置場所

	東部	中部	西部	合計
小学校内	9	13	12	34
幼稚園内	4	2	1	7
その他	保健センター 1	市・町施設内 4 療育施設内 1		6
	合計			47

3 担当者について

正規職員	東部	中部	西部	合計
	3	4	1	8
養護師 幼稚園教諭			市職員	

総計	93
----	----

臨時職員	東部	中部	西部	合計
	16	42	27	85

保有資格	ST言語聴覚士	12	保育士	37		
教員	幼	39	小	33	中	23
	高	14	特支	12	養護教諭	1
その他	社会福祉士1 支援教育専門士1 ヘルパー2級1					

年数	東部	中部	西部	合計
0年	7	10	6	23
1～2年	2	9	8	19
2～5年	3	18	10	31
6年～	7	9	4	20
合計	19	46	28	93

4 勤務形態について

職名	1週当たりの勤務日数	1日当たりの勤務時間	勤務年限
嘱託	5日	7, 5時間	なし
嘱託	4日	7時間	なし
嘱託	4日	7時間	あり(年間175日)
非常勤	4日	7, 5時間	あり(5年または3~5年)
非常勤	5日	4時間	1年契約 更新可
非常勤	5日	7時間	1年更新
非常勤	5日	8時間	なし
非常勤嘱託	5日	6時間	なし
非常勤嘱託	5日	6時間	あり(他職含め5年)
非常勤嘱託	4日	6時間	あり(1年更新)
非常勤嘱託	3日	6時間	あり(1年更新)
非常勤嘱託	3日	4時間	あり(1年更新)
臨時職員	5日	8時間	なし
臨時職員	5日	7. 75時間	なし
臨時職員	5日	7. 5時間	なし
臨時職員	5日	7. 5時間	あり(6か月更新)
臨時職員	5日	8時間	なし
臨時職員	3日	6時間	あり(1年更新)
臨時職員	3日	4時間	なし
指導員	幼児一人につき 2時間/1か月		なし

5 相談件数

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計	電話相談のみ
5歳児	466	280	55	1	1	803	12
4歳児	491	376	79	4	3	953	13
3歳児	115	248	67	1	1	432	14
2歳児	6	64	12	2	1	85	11
1歳児	0	3	1	0	0	4	2
合計	1078	971	214	8	6	2277	52

6 指導延人数

H23. 4. 1～H24. 3. 31

* 途中退級者も含む

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	656	622	100	2	0	1380
4歳児	315	467	79	1	3	865
3歳児	18	329	31	1	2	381
2歳児	0	19	4	0	1	24
1歳児	0	1	1	11	0	13
合計	989	1438	215	15	6	2663

↓
 SRの中で、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」
 「広汎性発達障害」「ADHD」「LD」等診断名が出ている幼児
 または、その疑いが強い幼児の数(総数)

	人数
5歳児	212
4歳児	141
3歳児	41
2歳児	7
1歳児	0
合計	401

・東部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	143	39	11	1	0	194
4歳児	88	49	16	0	1	154
3歳児	3	25	7	1	0	36
2歳児	0	12	3	0	0	15
1歳児	0	0	0	0	0	0
合計	234	125	37	2	1	399

↓
 SRの中で、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」
 「広汎性発達障害」「ADHD」「LD」等診断名が出ている幼児
 または、その疑いが強い幼児の数(総数)

	人数
5歳児	16
4歳児	20
3歳児	13
2歳児	5
1歳児	0
合計	54

・中部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	284	402	41	1	0	728
4歳児	117	312	31	0	2	462
3歳児	6	245	14	0	2	267
2歳児	0	7	1	0	1	9
1歳児	0	1	1	11	0	13
合計	407	967	88	12	5	1479



SRの中で、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」
「広汎性発達障害」「ADHD」「LD」等診断名が出ている幼児
または、その疑いが強い幼児の数(総数)

	人数
5歳児	164
4歳児	98
3歳児	20
2歳児	2
1歳児	0
合計	284

・西部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	229	181	48	0	0	458
4歳児	110	106	32	1	0	249
3歳児	9	59	10	0	0	78
2歳児	0	0	0	0	0	
1歳児	0	0	0	0	0	
合計	348	346	90	1	0	785



SRの中で、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」
「広汎性発達障害」「ADHD」「LD」等診断名が出ている幼児
または、その疑いが強い幼児の数(総数)

	人数
5歳児	32
4歳児	23
3歳児	8
2歳児	0
1歳児	0
合計	63

7 就学先について

H24. 4月に新1年生になった児童 *途中退級者も含む

	東部	中部	西部	合計
通常学級	136	504	254	894
通常学級+通級(言語)	43	163	164	370
通常学級+通級(発達)	4	30	3	37
特別支援学級(知的)	3	31	14	48
特別支援学級(自閉症・情緒)	2	14	5	21
特別支援学校	3	10	4	17
合計	191	752	444	1387

8 指導頻度について

H23. 4. 1~H24. 3. 31

*途中退級者も含む

	東部	中部	西部	合計
1週間に1回	305	221	624	1150
2週間に1回	46	785	75	906
1か月に1回	21	242	85	348

9 指導幼児の所属

H23. 4. 1~H24. 3. 31

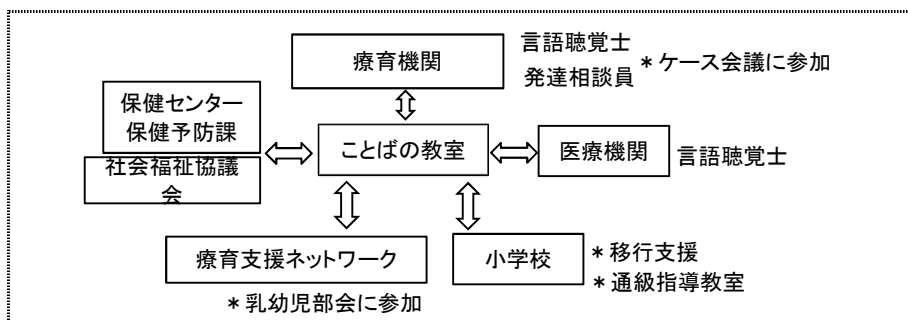
*途中退級者も含む

	東部	中部	西部	合計
公立保育所	52	236	60	348
私立保育所	39	241	104	384
公立幼稚園	174	206	337	717
私立幼稚園	112	556	288	956
在宅	13	32	1	46

*園との連携、園への啓発等 教室での取り組み

- ・園訪問(東・中・西部) ・相談会(中・西部) ・ことばの検査、健診(中・西部)
- ・参観会、指導公開(東・中・西部) ・連絡会、担任との相談会(中・西部)
- ・研修会(東・西部)
- ・指導計画の送付(東・西部)
- ・指導経過、指導報告書の送付(東・中・西部)
- ・お便り、静言研研修案内、教室案内文書の配布(東・中・西部) 園長会議で説明(東部)

10 その他の機関との連携・支援について



11 今年度当初の指導児数

H24. 4. 1現在

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	350	436	77	2	2	867
4歳児	60	230	35	1	2	328
3歳児	1	28	6	1	3	39
2歳児	0	5	1	0	0	6
1歳児	0	0	0	0	0	0
合計	411	699	119	4	7	1240

・東部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	94	32	13	0	1	140
4歳児	17	32	9	0	0	58
3歳児	0	9	2	1	1	13
2歳児	0	2	0	0	0	2
1歳児	0	0	0	0	0	0
合計	111	75	24	1	2	213

・中部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	154	301	37	0	1	493
4歳児	21	141	16	0	2	180
3歳児	1	18	3	0	2	24
2歳児	0	3	1	0	0	4
1歳児	0	0	0	0	0	0
合計	176	463	57	0	5	701

・西部

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児	102	103	27	2	0	234
4歳児	22	57	10	1	0	90
3歳児	0	1	1	0	0	2
2歳児	0	0	0	0	0	0
1歳児	0	0	0	0	0	0
合計	124	161	38	3	0	326

12 備品費、消耗品費等について

	不明	0円	0~1万円	2~5万円	5万円~
備品費	7	19	3	6	3
消耗品費	1	4	5	20	12

東部	不明	0円	0~1万円	2~5万円	5万円~
備品費	5	2	1	5	1
消耗品費	1	1	0	9	3

中部	不明	0円	0~1万円	2~5万円	5万円~
備品費	2	5	2	1	2
消耗品費	0	3	3	4	6

西部	不明	0円	0~1万円	2~5万円	5万円~
備品費		12			
消耗品費			2	7	3

独自の予算	17
学齢の予算に含まれる	16

独自の予算	7
学齢の予算に含まれる	4

* 備品費は共通、消耗品費は独自(1)不明(1)なし(1)

独自の予算	5
学齢の予算に含まれる	3

* 備品費は共通、消耗品費は一部独自(1)なし(3)

独自の予算	5
学齢の予算に含まれる	9

13 その他

・身分に関すること	→要望書に反映
非常にやりがいのある仕事だが・・	
臨時的身分がいつまでたっても改善されない。学齢と勤務内容が変わらない。	
指導員が退職した後、なかなか決まらない。(希望者が少ない)	
夏休み中の勤務日がないため、社会保障費等自分払い。	
勤務年限があり定着しない。	
・対象幼児の増加	→要望書に反映
通常児、相談児、および待機児の増加・・指導に限界。	
教室の数、指導員の増員希望。	
スムーズな移行支援のため、学齢の発達通級教室の増加を希望。	
・専門性の向上	
スキルアップのための研修や先輩の話を聞く機会が欲しい。	
・教材費	
大変助かっている。	
保護者向けの書籍もみとめて欲しい。	→検討
・アンケートをダウンロード後直接入力できず不便	→検討